



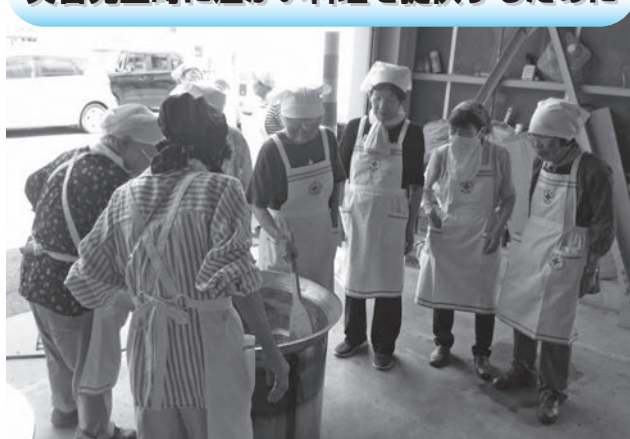
呼びかける 交通ルールと 思いやり



夏の交通安全県民運動にあわせて、町、養老警察署、養老地区交通安全協会が合同で、町内スーパーなどでの交通安全啓発や町内小学校における登下校時の交通安全指導、名神高速道路養老SAでのシートベルトの全席着用や飲酒運転の根絶などの呼びかけを行うなど、町内全地区で交通安全の街頭啓発および広報活動を実施しました。

7月11日(木)の西濃地区「交通安全の日」には、自動車の往来の多い交差点や通学路などに警察官や各分会の交通安全協会の役員が立ち、子どもと高齢者の交通事故防止や横断歩道における歩行者最優先の徹底についてなどを呼びかけました。

災害発生時に温かい料理を提供するために



7月5日(金)に町赤十字奉仕団による炊き出し講習会が行われました。家庭に常備されている備蓄品や食材を使って作ることができるメニュー(ハヤシライスやココアゼンザいなど)を、災害発生時に電気や水などのライフラインが遮断された状況を想定して、30人分調理しました。

町赤十字奉仕団は、人道・博愛の精神のもと、地域社会に貢献するため、募金活動やボランティア活動、高齢者や被災者、障がい者を励ますための友愛活動を行っています。平日の活動に参加可能で、誰かの助けになりたいという気持ちを持った人のご参加をお待ちしています。男女問わず、どなたでも参加いただけますので、興味がある人は町社会福祉協議会(☎34-3504)までお問い合わせください。

元気な攻め将棋で勝つ



第23回全国小学生倉敷王将戦 岐阜県大会低学年の部で優勝し、岡山县倉敷市で開催される全国大会へ出場する安田清流選手が7月30日(火)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長は「一握りの人にしか行けないさらに上の世界を目指し、全国大会でも自分の将棋を指して、良い結果を聞かせてください」とエールをおくり、安田選手は「県予選では少し危ない場面はありましたが、優勝することができました。全国大会でも得意の“早繰り銀”を駆使して、元気な攻めの将棋をして優勝したいです。将来は活躍するプロ棋士になりたいです」と、大会や将来に向けて意欲を話しました。

地域との繋がりと自分の居場所



7月23日(火)に町中央公民館 中ホールにて養老町人権教育推進委員会が令和6年度人権教育研修会を開催しました。東京大学先端科学技術センター特任教授/経済同友会会員/認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長の湯浅誠さんを講師として迎え、「地域の居場所と私たちの地域・社会」を演題とした講演が行われました。

講演では、湯浅さん自身の経験や研究結果から、居場所の数と幸福度の関係性について述べられました。参加者は自分の居場所がどこにあるのか、またいくつあるかなどを確認し、それが幸せに結びついていることを再認識するとともに、居場所づくりをすることが地域の未来に繋がることを学びました。